

在日フランス大使館・公益財団法人 後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会  
第1回 共同渡航支援プログラム 応募要項



■プログラムの概要

日本に在住する研究者等が、フランスの研究機関等に一定期間滞在し、癌治療に係る知見を共有し、癌撲滅に寄与することに対して在日フランス大使館と(公財)後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会が共同して助成を行います。

詳細は(公財)後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会ウェブサイトをご覧ください

<https://kiyoko-foundation.or.jp/grant-program/>



応募資格	フランスでの2週間～3ヶ月の研究滞在を希望し、応募時に日本在住であること。(フランス人を除き、外国籍の者も申請可)なお、渡航先・滞在先の研究機関からの招聘状を得られる者(見込みも可)とします。	
	1. <b>若手研究者</b> (1) 日本の大学に所属する博士後期課程学生 (2) フランス入国時点で博士の学位取得後5年未満の日本の機関や団体に所属する若手博士研究員及び研究者 2. <b>中堅・ベテラン研究者</b> (フランス入国時点で博士の学位取得後5年以上の博士研究員及び研究者) 3. <b>医師 (M.D.)</b>	
申請分野	癌撲滅に関する研究分野。具体的には以下の分野。 臨床医学、基礎医学(外科学、内科学、放射線学、病理学、分子生物学、疫学)、転移に関する多臓器分野、緩和医学、予防医学、終末期学、生体医用工学	
募集人数	1～2名	
滞在先	フランスの大学、国立の研究機関(CNRS、INSERM、INRAEなど)あるいはフランス国家が認定する公的機関	
派遣期間	2週間～3ヶ月 *滞在期間が90日を超える場合、ビザ申請費用(99ユーロ)を免除します。	
助成内容	1. 日本-フランス間の往復航空券代(エコノミークラス) 2. 滞在費 (1) 若手研究者:2週間～3ヶ月間(日額約18,000円) (2) 中堅・ベテラン研究者、医師:2週間～3ヶ月間(日額約21,000円) 3. フランス滞在中の社会保険 4. フランス滞在中の宿泊先を優待料金で紹介いたします。  * 但し、滞在期間が3ヶ月(90日)を超える場合、超えた分の滞在費及び社会保険は支給しません。航空券は90日以内の往復に対して支給されます。90日を超える滞在の場合、復路航空券は支給されません。 * 帰国後、3か月以内に在日フランス大使館及び財団へ「報告書」を提出することを義務付けます。	
応募書類	全てpdf形式にて提出 1. 申請書(英語) *財団ウェブサイトにてダウンロード 2. 履歴書(英語) *様式自由 3. フランスの訪問先機関からの招聘状または受け入れ許可がわかる書類(写し) *申請時点で見込みでも可  提出方法:(公財)後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会宛に上記1～3の応募書類を電子メールの添付ファイルにて送付 email: <a href="mailto:grant@kiyoko-foundation.or.jp">grant[at]kiyoko-foundation.or.jp</a> ([at]を@に置き換えてください)	
応募期間	2024年12月1日(日)～2025年1月31日(金) 午後12時必着 <b>期日厳守</b>	
結果通知	2025年3月 *電子メールにより通知(採否及び採択の場合は助成金の額を含む)	
助成金の 交付時期	2025年4月～	

お問合せ先:(公財)後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会 事務局 [grant\[at\]kiyoko-foundation.or.jp](mailto:grant@kiyoko-foundation.or.jp) ([at]を@に置き換えてください)